

毎月11日は「人権を確かめあう日」です。

子どもの生きる力を育むこと



「育む(はぐくむ)」とは、「いつくしみ、大切に育てること」。子どもは誰もが大切に育てられるべき存在です。

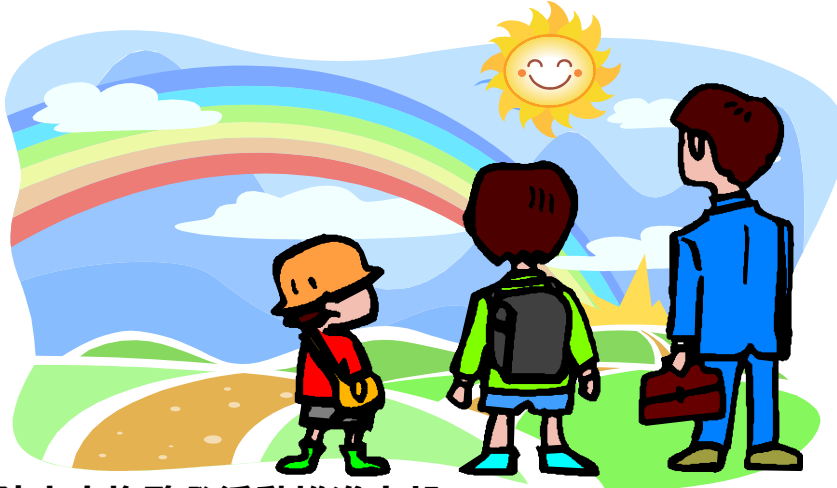
しかし、大切にされずに悲しい思いをしている子どもが、今日もどこかにいるかも知れません。強い立場にある大人の何気ない言葉や振舞で、小さな子どもの心は深く傷ついてしまいます。大人に頼らなければ生きることができない子どもにとって、身近な大人はとても大きな存在です。

不安な時に優しく見守ってくれたり、悲しい時はそっと話を聞いてくれること、何より「大切に思っているよ」というメッセージが必要です。

自信や勇気、生きる力は、大人から与えられるものです。しかし、それらを弱めてしまうのも大人です。

親であれば、時にはしかることもあります。地域の人であれば、危険なことを止めさせるために忠告することもあります。でも、厳しくしかることがあっても、その心に届けたいこと、一番大切にしなければならぬこと、それは「あなたが大切なんだよ」というメッセージです。

子どもの心の奥に響くこと、それは自分の存在そのものを認めてくれ、大切にしてくれるあなた自身の存在です。そのことこそが、子どもの生きる力を育んでいく中で、一番大切なことなのではないでしょうか。



宇陀市人権啓発活動推進本部

2013.11